

よりあいにこ家は 2こ目のわが家

わいわい
にこにこ
大家族ぞね



夜須町商店街のど真ん中。元は「さいとう履物店」の店舗が、地域の人の交流拠点として活用されています。活動しているのは「よりあいにこ家」(代表:竹島敬子さん)。「にこ家の家族(ボランティアメンバー)」は現在16人。どのような思いでこの活動を始められたのか、取材しました。

(編集委員・田中たい子)

ひとり暮らしの お年寄りとともに

平成24年、一人暮らし高齢者の引きこもりや認知症を予防しよう、誰でも気軽に集える居場所づくりに取り組み始めました。メンバーはすべて地域のご近所さん。

「いつかは自分たちも高齢になるき、誰かのお世話にならんといかん。みんなが集まれる場所があれば、気軽に井戸端会議しながら、困ったことも助け合えるきね」と、みんな、納得の表情です。

毎週1回、絵手紙教室・お話し・書道教室・エコバッグづくりなどを計画。3、4人が交代でボランティアに来ます。講師をお願いするときもあれば、自分たちで教え合うこともあり、気軽に参加者と、にこ家のメンバーが交流しています。野市町や香我美町のグループ



みんなで童謡のオンパレード!



ホームからも高齢者が訪れ、童謡を歌ったり、たわいもないおしゃべりで大笑いしたり、楽しい声が部屋中に響きわたります。「手助けのつもりでお手伝いしゅうけん、来てくれたお年寄りと交流するのは、私らのほうが楽しいがよね。考えてみたら、私らも高齢者や。それほど歳はかわらんきね」とメンバーは笑います。

2こ目の家族

「にこ家」の意味は2つあります。ひとつ目は「みんなで集まって、にこにこ顔で過ごせる家」。もうひとつは「2こ目の家族」という意味。

本当の家族と、にこ家の家族。メンバーの提案で、ぴったりの名前や!と皆大満足。

にこ家婚活応援隊

にこ家の事業として、今年初めて「婚活」に挑戦します。高齢者のサポートは、資格を持った人が必要ですが、「婚活」は、地域のおせっかいおばちゃんであれば、誰でもOK。若い人が出会える場を提供し、おばちゃんひと押しで結婚までお世話しようという試みです。

今回は、イベントとして事業を行います。今後は持続的に一対一で結び合わせるシステムを作り、NPO化も視野に入れているとのこと。楽しい試みに、ワクワクが止まらない。といった感じ。気になる方は参加してみたいかがでしょうか。

■メンバーの田中郁子さんが手書きした婚活チラシ。温かみのある印象が、独身男女の心に届くに違いない



お問い合わせ: ☎0887-55-5319
(にこ家婚活応援隊) 齊藤まで

編集後記

▼「もしかして...」と声を掛けられ、聞いてみると妹の同級生のお母さん、思い出せた瞬間、うん十年前、小学生だった頃の私がお母さん。風景や出来事が頭を過ぎる。記憶がすこい(猪)▼広報はスペースとの戦いです。「このコーナー」文字でお願いしたりも。広報4年目にもなる、制限数にも慣れてきて、余裕で文字を取めることができるようになってきた▼先日初めての美容室に散髪に行くと、小さくて可愛らしい女性が担当に。私のでっぴんの髪の毛をつま先立ちで一生懸命切っている姿を見て、私も頑張ろうと思えました。(り)▼子どもの頃から苦手な力エール。遭遇するたび凍りつきます。先日庭で水やりをしていたら、びよんと飛び逃げたカエルと一瞬、目が合いました。よく見ると、きみ意外とかわいい顔してるじゃない。(あ)

《広報へのメール》

kouhou@city.kochi-konan.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.jp

広報紙
スマホで
広報を見よう
i広報紙アプリの
ダウンロードは
こちらから